

総力を結集した 婦人会総会 活動を



就任のあいさつをする
平山会長

新会長には平山芳子さん（北清水）

女性の立場として、町発展に多大の貢献をしている町婦人会の定期総会が、四月三日中央公民館で開催されました。

全員で会員の歌斉唱の後、あいさつに立った五十七年度会長の藤代ゆうさんは「みなさんの献身的な努力で会員が増加し、組織が一段と強化されました。今後も総力を出し合った活動を更に進めていただきたい」と励ましの言葉を述べました。

続いて来賓の方がたから祝辞が

強く抱負を述べました。
二時間にわたった総会は、活発な意見交換などによって盛會裡に終了しました。

各分会の会長は次の方がたです。

第一分会（大総地区）
実川多津子さん（坂田）

第二分会（横芝地区）
吉田愛子さん（古川）

第三分会（上堺地区）
平山芳子さん（本会と兼任）

青年団入団式



新団員を前に激励のことばを述べる大木団長

ようこそ新団員、期待はデツカイゼ

新団長に大木和仁君（東町）

昨年を上まわるフレッシュな面々が入団し、各方面から大きな期待をかけられている町青年団。その彼らを歓迎する入団式が、四月十七日中央公民館で開催されました。

団歌の斉唱に始まったこの入団式は、団長の挨拶、来賓の方がたの祝辞、新入団員の紹介、事業計画の説明などが次々と行われました。

その中で、新団長の大木和仁君は「次代を担う若者として、社会の発展や地域づくりに貢献できる人間になろう。そのために社会人としての必要な知識や技術を、諸

活動を通して身に付けていこう」と奮起を促す言葉を述べました。

また、新入団員を代表して、小高功博君（新島）は「団のあらゆる活動に積極的に参加し、自分を少しでも高めたい」と熱意を述べました。

こうして入団の決った若人たちは、多くの先輩が築き上げた伝統ある町青年団を、より魅力的なものに発展させようと誓い合いました。活動のスタートが切られました。明日へ大きくはばたけ

青年団

健康アドバイザー

梅雨の入りは水虫シーズンの入りでもあります。水虫の菌は、白癬菌というカビの一種です。だから、湿気と不潔が大好きです。予防は清潔と乾燥ということになります。



水虫のシーズン到来

光浴させるのも予防・治療に役立ちます。

くすりは、菌によってきくものときかないものがありますから皮膚科のお医者さんに相談しましょう。市販の外用薬を使用しても、なかなかよくなおらない場合にも、お医者さんに見てもらいましょう。

みず虫はなかなかのガンコ者、なおったようにみえても、またすぐに再発します。なおったと思っても、すぐに治療はやめず、気長に治療してください。

